

淀川水系山田川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

1 説明文

(1) この図は、淀川水系山田川・井関川の水位周知区間について（以降、対象河川と表記）、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、公表時点の対象河川の河道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により対象河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 京都府 建設交通部砂防課、山城南土木事務所

(2) 公表年月日 令和元年 10月 4日

(3) 告示番号 京都府告示第249号

(4) 公表の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

(5) 対象となる水位周知河川

- ・淀川水系山田川（実施区間）
 - 左岸：相楽郡精華町乾谷ノ下地先（古川橋）から木津川への合流点まで
 - 右岸：相楽郡精華町乾谷長谷地先（古川橋）から木津川への合流点まで
- ・淀川水系井関川（実施区間）
 - 左岸：木津川市梅谷身増地先から山田川への合流点まで
 - 右岸：木津川市梅谷池ノ谷地先から山田川への合流点まで

(6) 公表の前提となる降雨 流域全体の1時間ピーク雨量133mm
(H25.9.15台風18号 1時間のみ引き伸ばし、総雨量299mm)

(7) 関係市町村 木津川市、精華町

(8) その他

①氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュ）に分割してこれを1単位として計算しています。また計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量をもとに平均地盤高を求めたものを用いており、微地形による影響を表現していません。

②この図は対象河川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で堤防が決壊させ、堤防がない区間においては、水を溢れさせた時の氾濫計算結果をもとに作成しています。

凡例

浸水した場合に想定される浸水継続時間（ランク別）

■	～ 12時間未満
■	12時間～ 24時間（1日間）
■	24時間（1日間）～ 72時間（3日間）
■	72時間（3日間）～ 168時間（1週間）
■	168時間（1週間）～ 336時間（2週間）
■	336時間（2週間）以上

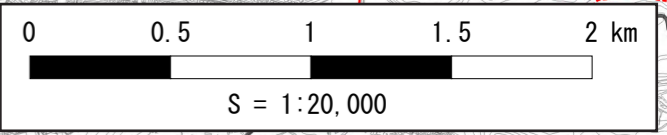
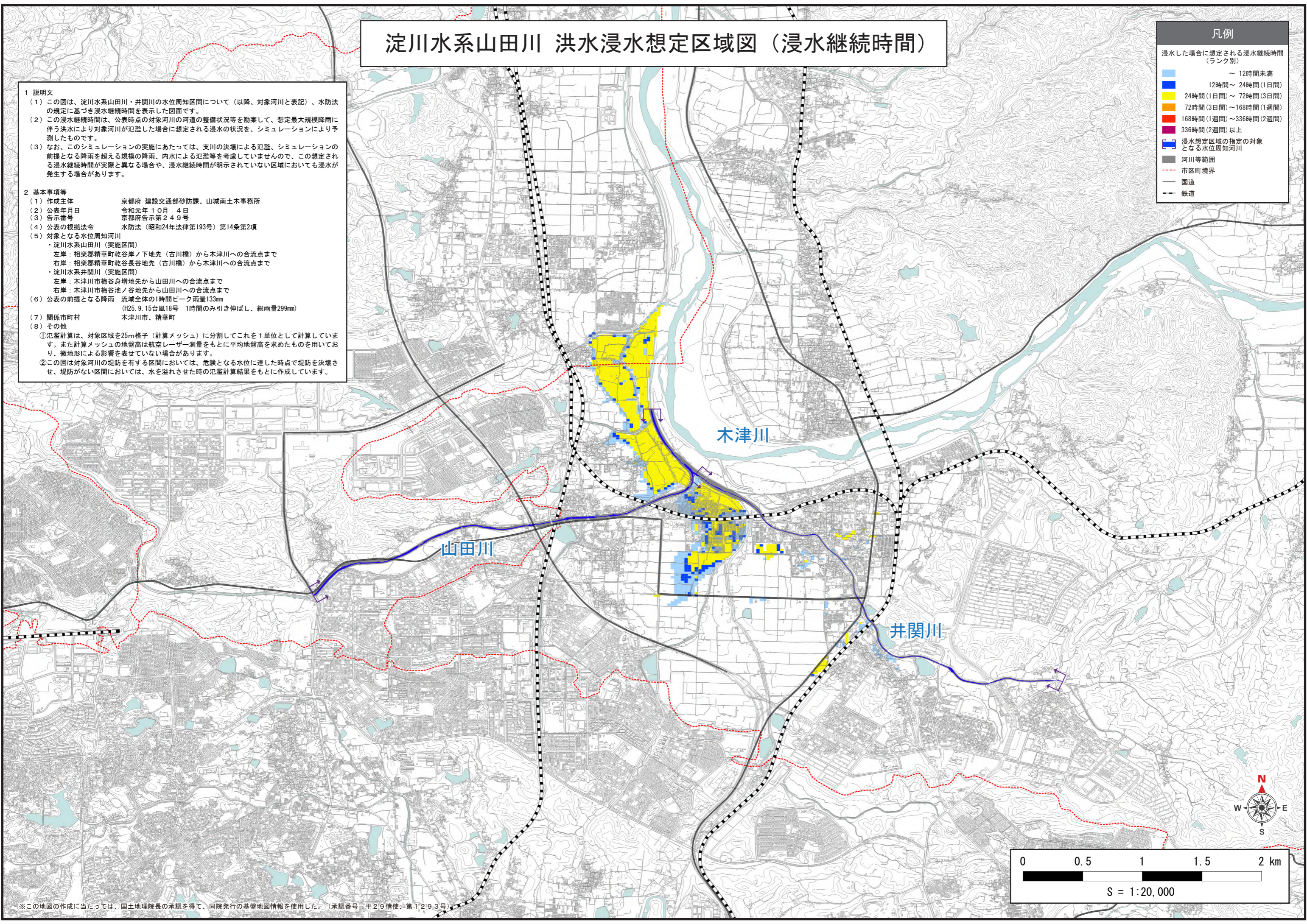
■ 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

■ 河川等範囲

--- 市区町境界

— 国道

- - - 鉄道



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平29情使、第1293号）